

## 「高等部・訪問教育」



### 訪問教育とは

障害や病気が原因で学校に通うことが困難な子どもの家庭に学校から教員が訪問して授業を行う教育形態です。また、本人の健康や学習課題に合わせて、御家庭の送迎で通学するスクーリングがあります。スクーリングでは豊かな学習経験を積み重ねて生活を広げるという目的で学校での授業や行事などに参加しています。

### 訪問教育で大切にしていること

本校では、

- ・安定した体調で過ごし、訪問教育とスクーリングのバランスを取りながら、生活リズムを確立し、生理的基盤を築いていく。
  - ・人との関係をより豊かに育て広げ、好きなことや楽しいことを共感できるようなコミュニケーションスキルをつける。
  - ・様々な体験を経験し積み重ねていくことを通して、卒業後の生活をより主体的に過ごすことができるようにしていく。
  - ・成長による身体の変化を受け止めながら、自分なりに安楽な方法を見つけ、意識できる。
- このようなことを大切に取り組んでいます。

高等部では3年生の2人が学んでいます。今年から週1回の訪問と週2回のスクーリングでの授業をがんばっています。訪問教育時には学校での様子を伝えたり、学級のみなと同様の授業に取り組んだりしています。

### スクーリングの様子



今回は1学期の学級通信よりスクーリング授業の様子を紹介したいと思います。

左は「夏の日に」の授業です。本物の釣竿を上手に操りビニールプールの中の魚をみごと釣り上げました。右は「はらぺこあおむし」の授業です。影絵を見た後に「あおむし」さんが登場して感動しました。友だちも近くにいて楽しさいっぱいの笑顔が見られました。